

令和6年度 第2回竹田地区教科用図書採択協議会議事録（要点筆記）

1 国語（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 2次元コードを使用すると生徒が理解しやすいということはあるですか？

答1 視覚的に情報を得ることが出来ることが多いです、そのため特に話合いの活動では生徒がイメージをつかみやすいので理解しやすいと感じています。

問2 光村の教科書が2次元コード、資料数等多いがどう評価しているか教えて欲しい
答2 使っている教科書でこんなにも差があるのかというのが率直な感想です。

現在当協議会管内の中学校では光村の教科書を使用していますが、中身が詰まりすぎていて多すぎるといった感じはありません。一単元一領域で教材が設定されているため、つけたい力が明確になり、評価の観点の設定しやすいと感じています。他領域と関連させていない分、一つの単元で非常に密度が濃い学習が進められていると思います。

問3 高校受験を考えた場合振り返って勉強する時どの教科書が一番わかりやすいですか？

答3 光村図書が一番わかりやすいと感じています。教科書の単元の構成が「学習の流れ→学習事項のポイント→具体例を用いて学びをイメージ化」の流れで統一されており、生徒が学ぶ内容を把握しやすいからです。生徒がどこで振り返りを行えば良いのか凄くわかりやすい構成だと感じています。

問4 国語は「読む」・「書く」が大事であるという認識がありますが、今回の調査では調べた視点が「話す」・「聞く」が独自視点としてありますがこのことについて説明して下さい。

答4 国語を教える際に「読む」・「書く」というところに凄く力を入れて教えてきました。特に竹田市、豊後大野市双方ともに「書く」という部分では高い数値を持っています。しかしその反面、「話す」・「聞く」という部分についてはまだ指導の形が定まっていない状況です。また生徒達も「話す」・「聞く」という部分が弱いと私達自身も感じたためにこの視点で調査しました。

問5 「話す」・「聞く」という分野はこれから生きていく上で大事でしょうか？

答5 一番大事だと思います。幼い子どもが一番最初に国語としてすることは「聞く」ことであり、そしてその次に「話す」ということなのでこの流れを考えていけば、中学校を卒業する段階で低いレベルの説得力のある「話し方」ではダメだと思います。また、「聞き方」についても適確に聞き取る力は必要になってきます。ところが「話す」・「聞く」という動作は日常的なものなので意識しないと埋もれてしまいます。そのため物事を分析的に捉えていくという意味でも「話す」・「聞く」ということはとても重要な領域だと思っています。

問6 生徒が興味関心を引くという視点ではどう調査されましたか？

答6 2次元コードを使用している教科書は最近多くなっていて親しみやすさを感じます。光村の教科書については字幕付の動画がある点や、動画を見ながら生徒自身がこの場合どのように対応するか？など問いかけがあるところが良い点だと思います。動画を通して自分自身として捉えることが出来るところが非常に大きな利点であると思いました。

- 〈 協議概要 〉 全会一致
〈 協議概要 〉 国語：光村

2 書写（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 カリキュラムの時間が1,2年生が20時間、3年生が10時間となっています。各教科書会社でコンテンツ数の違いが大きいです。書写ではこの違いをどのように評価していますか？

答1 光村は463点の動画コンテンツがあります。コンテンツの中身は、筆の持ち方、筆遣い、アニメーション、行書の活用、文字文化、補充教材等があるたこのような点数になっていると思います。授業の中でこれらを提示する場面もありますし、生徒自身がタブレットを使用して自分達で見て活用できるということも考えられます。

問2 書写は家に持ち帰って学習するという教科ではありませんが、光村のコンテンツが多いですが、活用しようとするコンテンツが多すぎるということはないでしょうか？

答2 1時間の授業の中でコンテンツを使用する時間数というのは様々です。しかし、書写は総合的な学習の時間でお世話になった方に御礼状を書くとか生活と結びついた学習をします。確かに書写は持ち帰ってまで学習する教科ではありませんが、コンテンツが多い方が子ども達自身もタブレットを活用しながら生活に根付いた学習ができるのではないかと捉えています。

問3 これだけコンテンツ数が豊富であると先生方の指導は不要になりますか？

答3 コンテンツを見ただけでは子供たちがそれを再現できない場合があります。やはり教師が生徒の横について筆の持ち方から教える必要があると感じています。中には準備の段階から苦労する子どももいるため、教師が横について指導するという必要性はあると思います。

- 〈 協議概要 〉 全会一致
〈 協議概要 〉 書写：光村

3 地理・地図（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 4社ともにSDGsに対して触れていますか？

答1 そこは詳しく調査していません。

問2 領土に関しての記述ですが4社ともに何か記述で表現に差はありましたか？

答2 特に差はなかったです。扱っている量も同じくらいでした。

問3 先ほどから各教科の報告を受けていると2次元コードから繋がるコンテンツがあることは非常に大事で、生徒達の読解力、読み取る力、覚えるのに必要だと言われています。各会社でコンテンツ数の差が非常に大きく出ていますが、コンテンツ数は生徒たちが理解していく上で何か関係しますか？

答3 社会が得意で社会をより深く理解したい生徒にとっては良いことだと思います。その反面社会が苦手な生徒にとってみれば、何を使ってよいのかわからない

ということがあると思います。もちろんそこは教師がフォローしながらの活用するようになると思います。また教員の活用方法によって変わってくると思います。

－ 以下 地図に関する質疑 －

問4 地図帳ですが、「その他」の項目で自然災害・防災対策の記載がありましたが、これは帝国書院だけの話ですか？東書は記載が無いということですか？

答4 東書にも記載はありますが、帝国書院の方が多いいということです。

問5 2次元コードの内容は必要に応じて更新されますか？例えば教科書が納入された4月にアクセスした時と10月にアクセスしたときは違いがありますか？

答5 情報は必要に応じて更新されると思いますが、地図では今回初めて2次元コードが導入されたためよくわかりません。

問6 社会は歴史、公民、地理、地図で構成されますが、それぞれの領域の関連として同じ教科書会社の方が良いでしょうか？何か関連はありますか？

答6 確かに関連があった方が良くと思いますが、地図ではやはり生徒が見て理解しやすいという点を重視することが重要だというのが選定委員の間での意見です。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 地理：東書

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 地図：帝国

4 歴史（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 報告書のまとめの項目に▲でゴシック体で示す用語の有無や数値の記載がありますが、これはどう評価すればよいですか？

答1 ゴシック体が使われていない教科書は何が重要で何が需要でないか理解するのが難しいと思います。逆にゴシック体を多く使われている教科書については覚えるべきことが多いという印象が有りそこまで覚えなくてはならないのか？という印象があります。ゴシック体を使用する数としては300～400箇所くらいが良いのでは？という意見であったため、この様に記載しました。

問2 文章中に太字の文字が多いと読むのに興味がなくなるということを聞いたことがあります。それに該当する教科書はありましたか？

答2 学び舎についてはあえてゴシック体を使用していないという記述がありました。

これは生徒が自主的に考えたり調べたりすることを阻害する可能性がある、という論点で敢えてそのようにしているそうです。そのような考え方もあるのかという感想を持ちました。

問3 2次元コードの多い少ない、また全く無いという教科書もありますが、先生方から見た場合どちらが教えやすいとありますか？

答3 2次元コードがあると授業の準備の際にも助かりますし、生徒もタブレットを活用して自分の興味がある物を積極的に見られるので2次元コードがある方が良いと思います。

問4 生徒達の見方として教科書には、資料や図表が多い方が良いと思いますか？例えば、少し珍しいなと感じましたが自由社では文字だけで説明している箇所がありました。生徒達はどうか感じますか？

答4 文字だけで理解できる生徒もいると思いますが、やはり図表、年表、資料等がある程度あったほうが時代背景を捉えたり出来るので、生徒達がよりイメージしやすいと思いますのである程度あった方が良いと感じています。

問5 歴史と防災の関連性は視点としては大切であると思いますが、防災に触れている記述は東書以外の教科書にはありませんか？

答5 防災に関する紹介ページはありますが、〇〇ページに防災に関する〇〇の写真が掲載されているのでその部分を指導する際に配慮して欲しいというような記述は他の教科書にはありませんでした。

問6 歴史の大きな流れをどう捉えるか？100年が一つの歴史の流れ、関係としてどのように生徒達が捉えるべきか？それを教科書としてどう扱っているのか？という視点で調査して頂いたということで良いですか？教科書全体的に見ていかがですか？その部分を大切にしていますか？

答6 はいその視点で調査しました。一部の教科書を除いては、前の時代からの移り変わり、次の時代へどのように変わっていったかという視点で捉えています。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 歴史：東書

5 公民（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 報告書3番の項目で挿絵、図表とありますが、その中で資料として新聞記事がありますが、公民という教科で新聞記事の数は大事になってきますか？

答1 公民分野の第1章にメディアリテラシーの育成というものがあります。同じ時事

の問題でもA社とB社という新聞では当然社説や見解が異なります。最新の新聞記事が豊富にあるというのは教科の特性上、時と場合によって評価は違ってきます。そのため最新の新聞記事が掲載されるというのは非常に需要だと考えます。生徒が比較検討する資料としても非常に貴重な資料になると考えています。

問2 資料を読み取るヒントがありますが生徒はこれを見えていますか？

答2 見ているかどうかは正直ハッキリはわかりませんが、色々な生徒がいる中でこの様に丁寧に設定されていることは重要だと思います。また教師側も幅広い年齢層であるため、このヒントを上手く活用しながら教えることが出来るためヒントの掲載数は重要だなと感じています。

問3 教科独自の観点についてですが、例えば「北方領土」や「竹島」などの表現の仕方はどの教科書もほぼ一緒でしょうか？同じような記載の仕方でしょうか？

答3 若干書き方が違います。国の見解をそのまま掲載する教科書と、国の見解に対して反対の意見もあるということも掲載している教科書もあります。

問4 報告書の7番、総合所見に主権者教育の記載がありますが、これはとても重要な内容だと思います。しかし今までこの部分は少し内容が薄かった様に思いますが、今回全ての教科書で構成が変わっていますか？

答4 教科書によっては内容が少し薄いかなど感じるものもありました。選挙権年齢を引き下げるという切り口から主権者教育を発展させ、そこから政治に関心を持たせるような教科書がありました。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 公民：東書

6 数学（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 大分県竹田市の円形分水はどんな題材として掲載されていますか？

答1 問題としてではなく教科書の最初の部分で水を均等に分けるという紹介で掲載されています。

問2 啓林館の3年生の教科書の構成が独特の配置と記載されているがこれはどういったことでしょうか？

答2 各教科書の概要を説明する中でもお伝えしましたが、東書、大日本図書、教育出版、啓林館、数研では場面場面で工夫されている配置が見受けられます。啓林館の3年生の教科書で2次方程式の解の公式を先に配置しています。他の教科書では最初に因数分解で簡単なものから配置します。そして難しくてもどうしても解けないも

のについては最後に解の公式を使って解くという流れがあります。2次方程式に関しては啓林館と東書が解の公式を先に掲載する作りになっています。

問3 それは実態としてどうですか？

答3 生徒の立場からすると最初に難しい問題が来ると、理解するというよりは暗記しようという感覚になってしまいます。やはり段階を追って指導して最後にあった方が良いのではないかと考えています。

問4 2次元コードは生徒達に役立ちますか？それと数学を復習するときにやはり2次元コード掲載されているページがあることは大事ですか？

答4 日文が2次元コードを非常に多用しています。2次元コードからは、解説動画、アニメーション、シミュレーションなど自分で操作活動できるコンテンツです。特に立体を理解しづらい生徒にとっては直接立体を触って動かすことができるようなものも数多く採用されていると思います。やはり2次元コードが多く採用されている方が生徒達もわかりやすいのかなと思います。復習ページについてはどの教科書にも後ろの方に復習ページが配置されていますので各教科書で特に違いは無いと思います。

問5 生徒が理解しやすい思考回路になるような教科書の単元配列が各教科書工夫されていますか？

答5 1年生の教科書で素因数分解が一番最初に配置されているものもありますが、小学生から中学生になって間もない生徒が身構えてしまい数学がわからないと不安を感じるのではないかと感じています。先ほども教科書の構成で配置について触れましたが、この地域の生徒達への数学の教え方としてやはり順を追って指導した方が実態に合っているのではないかと感じています。

問6 小学校の教科書との関連はどうでしょうか？

答6 どの教科書も工夫を凝らしていて大きな差はありませんでした。

問7 家庭学習をする際に良いと感じる教科書はありましたか？教科書で差はありましたか？

答7 2次元コードが多い教科書が良いと思いました。2次元コードが多いとそれを見ながら学習が出来るので良いと思います。東書と日文が2次元コードが多いです。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 数学：日文

7 理科（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 自然災害の記述についてそれぞれの教科書はいかがでしたか？

答1 1年生の地学の分野、3年生の科学技術と人間、自然と人間という単元で書かれています。その辺の単元で地震のことや昨今起きている災害についての記述がありました。

問2 異常気象の視点のことは記載がありましたか？

答2 気象は2年生の天気のところでは扱いますが、水害などについては各教科書記載されていると思います。

問3 ICT関係の情報量についてですが、各教科で情報量は多くて困っていないか？という質問がありましたが理科ではどうですか？

答3 多くあることに越したことはないかなと思います。先生方も授業の事前準備で色々な情報を見ることが出来るので良いと思います。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 理科：啓林館

8 音楽・器楽（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 たくさんの種類の楽器の弾き方が掲載されていますが、例えばドラムやギターの実技の授業はありますか？

答1 週1時間の授業なので実技をする楽器は限られます。例えば3年生の教科書ではビートルズの紹介がありますが、その時に写真があればドラムセットはこれだよという感じで生徒達に教えます。
和楽器についても1つは履修することになっています。箏（琴）は各学校にありますが三味線などはないため、もしあれば指導する際に参考になります。

問2 学校や先生によって指導する楽器は違うという認識で良いですか？

答2 はい。

問3 教科書会社は、音楽・器楽ともに2社ですが同じ会社の方が指導しやすいでしょうか？生徒もその方が理解しやすいでしょうか？それとも別々になっても問題ありませんか？

答3 東書については学びのコンパスという指導要領で示されている、「自分たちで考えて想いや意図を持って音楽表現する」という点に置いては、一般の教科書と同じように器楽の教科書も表記が同じようにしているのが東書でした。子ども達が見る上でも凄く連携がとれていて扱いやすいと感じました。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 音楽・器楽：教芸

9 美術（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 高校では美術は選択科目ですが、絵を描くという授業が中学校で最後になる子どももいると思いますが、そのことに触れている教科書はありますか？

答1 美術を中学校で学ぶのが最後になる子どもがたくさんいると思います。また最近の教科書では鑑賞という項目が3社ともつくようになりました。これは例えば大人になったときに少し時間が出来たときに美術館に行ってみようか、となるような足がかりとして鑑賞にページが割かれることが多くなってきたということだと思います。

また各教科書とも身近なものに美術が使われていると紹介していることが多くなりました。部屋のレイアウトを決めたり自分の服を選んだりすることも美術の一つだと思いますが、自分たちの身の回りとう美術という教科をつなぎ合わせようとしているのが最近の教科書の特徴だと感じています。

問2 3社ともにそのことに対して力を入れているという認識で良いですか？

答2 はい。

問3 生徒の作品がこれまでに無く多く掲載されているという認識で良いでしょうか？説明のあった1社（日文）だけですか？それとも全部ですか？

答3 この3社では日文が生徒の作品が多く掲載されています。過去の教科書との比較ですごく増えたかどうかはわかりません。しかし、授業で教えている感覚ですと開隆堂と光村は他の資料を掲載しているため生徒の作品が若干少ないといった印象です。日文が他の2社と比較してとりたてて比率を高めているといった感じではありません。

補足で説明しますと3社の傾向として日文は以前から生徒の作品を多く掲載する傾向でした。今回の教科書でもその傾向が引き継がれていると感じています。一方、開隆堂と光村は1つの作品について動画コンテンツを掲載していて、制作者である生徒自身がその作品の想いを語っているという手法です。それによりその作品に対してより理解が深まるような工夫をされています。扱い方の傾向が若干異なるかなと思います。

問4 粘土細工に見えないような作品が教科書に載っていますが、授業でこのような作品を扱いますか？

答4 粘土を使った作品は作りますが、教科書に掲載されているものは塗料を塗っているため粘土に見えない程の作品です。先生にもよりますがこれほどまでに精巧な作品は授業では作りません。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 美術：光村

10 保健（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 東書の報告書の6番その他の項目で地域の人と協力して活動するという記載がありますがこれは具体的にどのようなことでしょうか？

答1 ごみ拾い活動、ペットボトルのリサイクルなどが随所に掲載されています。

問2 教科書内容が凄く変わってきているみたいですが、保健体育のみならず地域や自然災害に対する考え方などが幅広くなっているという認識で良いですか？

答2 はいそのとおりだと思います。年間105時間の授業時間のなかで35時間は保健の分野をする割当があるので、その部分は変わりないですがその他のところが子どもが興味関心を引くような分野に変化していると感じています。

問3 防災についてですがこれは体育という教科の中でいつから扱われるようになりましたか？

答3 自然災害から身を守るというのは結構前からありました。特に最近自然災害が多くなってからはその分野が充実しており、具体的に自分の身は自分で守るか、どういう時が警報レベルか？という具合にどんどん増えてきていると思います。

問4 体育に関する興味関心を持たせるような記述が教科書にありましたか？

答4 どの学年の教科書にも、運動と健康の項目がありました。運動がどのように自分の体に影響してくるか、体力をつけるだけでなく健康面を考えた場合、ストレスに関しても運動がいかに自分の健康のために重要になってくるかが教科書に記載されていました。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 保健：学研

11 英語（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 各教科書の報告書のまとめの項目で、分量が多いという記載がありますがこれは長所、短所どちらを指していますか？

答1 教科書の特徴としては長所と考えています。しかし、いきなり分量が多い部分が出て来るため、少しずつ分量が増えた方が良いと思います。また当協議会管内の子ども達にとっては少し多すぎると感じました。

問2 東書が2次元コードが多いですがこれはなぜですか？

答2 東書の場合細かく各ページに2次元コードが配置されています。他の教科書はある程度まとめて2次元コードが配置されています。分量としては授業をする上では過不足ないと思います。

問3 小学校の英語の教科書会社と中学校の英語の教科書会社は同じでなくても問題ないですか？それともやはり同じ方が子ども達が学びやすいとかありますか？

答3 小学校は三省堂のNEW CROWNを使用していますが、単語の場所や本文の場所などが教科書のどの位置にあるかとか子ども達が慣れ親しんだものが良いのではないかと思いますのでメリットはあると思います。NEW CROWNの良いところはリスニング教材が凄く多く取り上げられています。子ども達が得意とする聞く力から授業を始めることで、楽しく英語学習を始められるのではないかという意見ができました。

問4 英語の教科書の2次元コードのコンテンツは英語の発音を聞くというだけですか？それとも他にもありますか？

答4 教科書の上の方にQRコードがあり、子ども達は自分たちのタブレットでそのコードを読み取ります。そしてそれから英語本文の発音が聞けたり、新出英単語の発音が聞けたりします。学校ではそれを活用して自分のペースでイヤホンで音を聞きながら発音練習して英語を読むように指導しています。そしてそれを録音してロイロノートというアプリで全員が先生に提出して評価するという行っている授業を進めています。家でQRコードを読込めば学校で習った内容と同じものが聞けます。各教科書会社共に充実しています。

〈協議概要〉 全会一致

〈協議概要〉 英語：三省堂

12 技術（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 他の教科はICT技術を活用することが主ですが、技術教科はまさに情報の技術を教えるという分野だと思いますが、具体的にはどういったものがありますか？

答1 プログラミングがあります。

問2 教科書を調査研究するにあたって留意した点があれば教えてください。

答2 当協議会管内の竹田市、豊後大野市では技術の免許をもつ教員が両市に1名ずつしかいません。そのため専門免許を持たない教員でも指導しやすいかという観点で教科書を調査研究しました。

問3 免許外の先生でも生徒たちに教えやすい教科書はありますか？

答3 どの教科書もよく考えられています。東書の教科書がシンプルで扱いやすいと感じました。

〈協議概要〉 全会一致

〈協議概要〉 技術：東書

13 家庭科（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 マークとはなんですか？その数は何を意味しますか？

答1 教科書に使われているマークということです。例えば安全に配慮しましょうとか、衛生に配慮しましょうとか、他の教科とどんな関連があるかを示すものです。どの教科もそれぞれ関連性があると思いますが、特に家庭科は色々な教科と関連性が強いです。それぞれの学びにどのような関連性があるのかを示すものです。

問2 このマークが多いほど扱っている種類が多いということですか？

答2 はい、その通です。マークが多いほどその関連性が示されているということです。

問3 マークが多いほど子ども達が学びやすいという認識で良いですか？

答3 はい子ども達が学びやすいと思います。また家庭科の教員がいない場合、マークを見ることで関連性が理解できるため、どことどこが関連づけられているのか理解しやすいため教師側からみても教える際にどこをどう教えるべきか理解しやすいと思います。

問4 3つの領域があると説明がありましたが、生徒の思考回路にあわせてその3つの配列が整理され、順番にA→B→Cといった感じで教えているということでしょうか？

答4 家庭科は順番に教えなさいというわけではなく、教師側にかかなりの裁量があります。例をあげると、家族のことを扱って衣食住をメインで教え、そこに環境のことなどを交えながら、最後に3年生で高齢者のことや小さな子どもの保育のことなどを教えたりします。

問5 家庭科は日常生活のことを学ぶ教科ですが、生徒達が教科書を読むことで日常生活のことをよく理解できるように教科書の内容が充実していますか？

答5 はい。3社ともに充実しています。どの教科書も甲乙つけがたいですがどれも1冊あれば一生に必要なことが詰まっていると思います。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 家庭科：東書

14 道徳（種目責任者・種目代表者 説明資料）

問1 何社か教材が重なっている内容がありましたか？

答1 はい。2社くらいありました。例えば2通の手紙という動物園の内容とかがあり、他にもありました。

問2 教育時間数にあわせた数だけ教材数があるのですか？

答2 教育時間数より少ないです。なぜかという各学校で生徒の実態に合わせて特定の項目を多くしようとして幅を持たせています。35時間に対して教材の項目は22となっています。

問3 すべての教科書が対象教材について生徒達が考えるべき方向性について記載されていますか？

答3 考える思考の流れを提示していると思いました。全教科書ともに「考える視点」や「自分自身を見つめる視点」などが掲載されていたので、指導しやすいと感じました。

問4 道徳という教科は自ら学ぶというよりは、生徒達に提供する内容については教える側の先生方から見てこれは学んで欲しいという内容が詰まっている教科書が良

いという考えですか？

答 4 学習指導要領の中では道徳科、かつ、教材であるか？という視点が設けられていました。この視点が報告書で説明した独自視点（(1)人間尊重の精神、(2)悩みや葛藤、人間関係等の課題、(3)生きる喜びや勇気）です。これから先の時代、多様性の中で生きていく子ども達にとって、どのような教材で一緒に考えていくか？ということが大切だと思います。いじめに関しても系統的に扱うように提示されています。現代において必須である情報モラルなど、各教科書とも今の子ども達に必要とされている教材を掲載していると感じました。

〈 協議概要 〉 全会一致

〈 協議概要 〉 道徳：日文